
thank you!

南

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

thank you!

【著者名】

南

N4555A

【あらすじ】

不安で一杯の主人公と彼が電話で会話をするお話を。

春なのに、悪い天気。

外は風が強くて薄暗い。

天気が悪いと不安になる。

今の私をそのまま暗い闇で覆ってしまいそうだから。

「春なのになあ」

1人暮らしの部屋も不安を煽つて、出す言葉も寂しく響いた。

しばらくの間窓際に座つて、

いつか雲がぴゅーっと飛んでいて青空が広がるのを期待していた。

・・でもなかなか思う通りにはいかない。

「つーん」

眉間にシワを寄せて窓の外を見たら、

外でよじやく咲いた花が倒れているのを見つけた。

「咲いたばかりなのに」

外の世界はもう灰色に覆われてしまった。

窓にくつついて花を見ていたら、電話のベルが鳴った。

・・・うるさいな。

ゆっくり手を伸ばして受話器をとる。

「はい？」

「ハルナ、久しぶり。元気？」

そうたずねる、彼の声。

「元気だと思つ？」

私の気持ちなんか分からぬいくせ」。

不安で一杯なのだつて全然知らないくせに。少しイラつとして、そつけなく返事をした。

「元気じゃないな」

「コウタは元気なんだね」

攻撃的な言葉でも「コウタは怒らない。

「うん、元気。だつて今ハルナと話してるから
「・・・電話でなのに？」

「え？」

「だつて顔を合わせて話してもないのに・・・気持ちが伝わるわけないじゃない」

なかなか会えない、話せない。

不安で一杯なのもわかつてもられない。

こつやつて電話で話したつて、寂しさを大きくするだけ。電話でなんかコウタに私の気持ちは伝わらないよ。

きつとこの後、私も灰色で覆われてしまうんだ。

それが怖くて、不安で仕方が無くて、涙がでてきた。

唇をかんで我慢しても結局溢れてきて、泣いてしまった。

もう、嫌だ。

「ハルナ、今すごい不安？」

「…当たり前じゃない」

「でも、大丈夫だから」

「え？」

「会えなくても、声にだつて想いはのせられるんだよ？」

「大丈夫だから。電話でも気持ちは伝わるから。大好きだから」

電話から聞こえた声は、春の太陽みたいだった。
不安を取り除いてくれる声。

「電話でも気持ちは伝わるだろ？」

「…うん」

「好きだよ」

「…うん」

電話でも気持ちは伝わるんだつて気付かせてくれた彼。
でも、私がどんなに嬉しいかまでは知らないくせに。

けど

『好きだよ』

その言葉が温かかった。

不安になつたときは電話して？

その時は私が、この言葉であなたの不安を吹き飛ばすから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4555a/>

thank you!

2010年10月11日02時22分発行